

男山地域まちづくり連携協定



ハ幡の謎集合写真
終了後にみんなで和やかに交流しました

外国語
異文化
多文化共生

DATA

- 主な連携先・メンバー
京都府八幡市／独立行政法人都市再生機構
- 活動地域
京都府八幡市
- 活動期間
2021年～継続中
- 活動資金
八幡市受託研究

目的

グローバル化の進展を受け、日本人住民の外国語運用能力向上と、互いの言語・文化を尊重する多文化共生の実現を活動の目標としております。

連携に至る経緯

京都府八幡市との協定に基づき、環境都市工学部の江川直樹先生と大影佳史先生が「住みたい、住み続けたい」街づくりにおいて多大な成果を収めておられました。つきましては、私のゼミ活動を通じて言語・文化領域でも貢献させていただきたく思い、連携に参加させていただきました。

活動内容

地域住民と外国人住民の交流深化、および住民の英語スピーキング力向上という目標を掲げ、事業を展開しています。まず、「英会話×謎解き×歴史」をコンセプトとする周遊型イベントを開催しました。ゼミ生が制作した源頼朝をモチーフとするキャラクターが登場する歴史ストーリーに沿って市内を巡り、英語での謎解きに挑戦する形式を採用することで、楽しみながら英語を使用できる環境を創出しました。終了後は、英語クイズを追加した約20ページの学習リーフレットを

制作し、市内で広く配布することで、継続的な学習定着を図りました。さらに、市内で増加するベトナム人住民との多文化共生を促進するため、「料理で知るベトナム」交流会を開催しました。クイズ形式でベトナムの社会・文化を紹介し、その後、地域住民とベトナム人参加者が協働で伝統的なベトナム料理を調理し、共に食卓を囲みました。基本的なベトナム語の表現を学ぶ機会を設けることで、食を通じて文化の相互理解と友好促進を深め、地域コミュニティの多様性を育みました。



ハ幡 ゼミ生
無事に終わって充実感

ベトナムイベント プレゼン
ゼミ生たちが
ベトナム語の説明



ベトナムイベント 調理中
参加者が一緒に
ベトナム料理を調理しています

ベトナムイベント 入口
参加者とゼミ生たち



活動の成果

- ≫ 八幡市の文化の奥深さに触れ、英語で説明することの重要性をお伝えできました。
- ≫ 英語での積極的な交流を通じ、近隣住民との友好関係構築のきっかけになりました。
- ≫ 共同調理を核に、地域におけるベトナム人との円滑な多文化共生を促進しました。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 英語を含めて、多様な言語・文化に楽しみながら触れるイベントの開催
- ≫ 市民が外国の言語・文化に興味を持ち、自発的に活動するためのサポート
- ≫ 複言語主義に関心がある自治体や団体などとの連携

連携先からの一言

多くの日本人が学ぶ英語を使った交流、急増するベトナム人住民との交流という、異なる言語・文化の交流事業を同時に、かつ高いレベルで実施いただき、当市の多文化共生の推進に大きく寄与していただいています。

(京都府八幡市市民協働推進課)

外国語学部 教授 高橋 秀彰 Takahashi Hideaki



社会言語学、言語政策論を専門としています。移民を対象とする言語教育、グローバル化における機械翻訳の活用、国家・地域における言語政策などに関心を持っています。

